

# 平成 30 年度庄原市食育研修会

平成 30 年 6 月 20 日 (水) 庄原市総合体育館 第 2 会議室

学校や地域において、食の課題解決に向けた組織的、計画的な取組を行うため、本研修を通して、食に係る指導内容の充実を図るとともに、各校の教育活動に資することを目的に、研修会を行いました。

## 【講話】「本県及び本市の食育の現状と取組の推進について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 和田 杏奈



- ◆本県及び本市の食育の現状や今年度の重点的な取組について講話を行った。
- ・広島県の食育の課題は、「主食・主菜・副菜のそろった朝食」「食事の準備や後片付けの手伝い(家庭での実践)」「郷土料理の知識」の3点である。
- ・庄原市では、生活習慣病を予防するために、様々な場面で子供達に食の重要性について考えたり興味をもたせたりするための取組を進めている。

## 【実践報告】「各教科等における食に関する指導の実際」

庄原市立東城小学校 栄養教諭 森川 のどか

### 【協議 1】「各校における食に関する指導の充実に向けて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 和田 杏奈



- ◆森川栄養教諭が、学級活動でのマナーについての学習や家庭科での郷土料理についての学習等、具体的な事例の報告を行った。その後、実践報告を聞いて、参考になった点や自校の取組に活用できる点等についてグループで協議を行った。
- ・児童が楽しみながらマナーについて学習できるような教材の工夫をしている。
- ・マナーについての評価項目を学校で定め、全学年で調査している。
- ・校内掲示や家庭での取組依頼等により、授業での学びが継続されるよう工夫している。

### 【協議 2】「食の課題解決に向けた取組をめざして」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 和田 杏奈



- ◆各校への事前アンケート「自校の食に関する取組で課題であると考えていること」で多く挙げられた項目である「朝食の内容」「食事のマナー」「家庭との連携」「偏食・残食」「郷土料理・食文化」について、グループごとに現状とその改善策を協議した。
- ・バランスのよい朝食を促すためには、よい主食・主菜・副菜とはどのようなものかを児童生徒に伝える必要がある。
- ・マナーを意識する日を学校全体で定めるとともに、児童生徒の成長を肯定的に評価していく。

### 【参加者の振り返りより】

- ・実践報告の中から、いろいろな教材や教具を使って具体的に指導していくことや、楽しく学ぶ工夫のヒントをもらった。
- ・食事のマナーを定着させるために、食事マナーチェックの実施方法を見直して、より丁寧で継続的な指導を行っていきたい。
- ・市内全体での食育担当の先生方との交流機会となり、様々な意見交流ができ大変参考になった。